
僕たち私たちの楽しくない魔法学

主人公を引き立たせるのは脇役！

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕たち私たちの楽しくない魔法学

【Nコード】

N9113W

【作者名】

主人公を引き立たせるのは脇役！

【あらすじ】

魔法がある世界を舞台とした物語。

プロローグ（前書き）

暇潰しに書きます。

プロローグ

――俺は、魔法というものが嫌いだ。

――なぜ俺は、こんな世界に生まれた。

――魔法がある世界なんて全部消えろ。

――世界にこのまま、魔法が存在し続けるなら

――俺がこの世界の全てを変えてやるよ

――魔法が存在しない世界に変えてやるよ。

――そつだ。俺が理想とする世界にな。

ある重犯罪者が犯罪を犯した動機。

この犯罪者は、10年前に公開処刑された。

この犯罪者は、世界に大きな影響を与えた。

この犯罪者は、国から信用された魔法使いだつた。

この犯罪者が犯した罪は、他国の国を滅ぼした。

その滅ぼされた国から生存者は、3人だけだった。

この犯罪者は、死ぬ寸前まで笑っていた。

プロローグ（後書き）

感想待ってます。

第1話「始まり」(前書き)

やっぱり短いです。

第1話「始まり」

あの事件から約10年の時が流れ、一人の少年の物語。

シン視点

なんちゃって。俺は、別にあの犯罪者については、復讐心なんか持っていないし。する気もないし。そもそももう死んじやってるから無理だけどね。

え、そう言っても、自身の故郷を滅ぼされたからあの犯罪者は、憎んで当たり前だろうじゃないかだって？。

は？何言ってるの。

そもそも俺は、いつ言った。俺が「10年前にある犯罪者が滅ぼした国の生き残り」なんて俺は、一言も言っていないだろう。

まあ、確かに滅ぼされた国の生き残りがその滅ぼした人間に復讐を誓い生きていくストーリーもあるよ。けど最近、それってかなり頻度で見かけるよね。

まあ、全部が全部そんなストーリーだったら飽きるだろ。もう一回言っけど、その犯罪者は、もうとつくに天に召されてるから。

まあ、だから俺は、復讐なんてことしません。

ん、なんでそんなに結構危ない話ができるのか？

そんなもん決まっている。俺がよくある転生者だからさ。

みんな驚かないんだね。まあ、最近、よくあるからね。

ん、じゃあお前も誰かに力をもらってチートか？

違うね。俺はチートなんかじゃないし。

それにこれは、漫画やアニメの世界じゃなくて、もしもの世界さ。

へ、どうゆうもしもの世界だ？

まあ、世界が科学じゃなく魔法が発達した世界さ。

まあ、この世界の説明や俺の紹介は、次回をお楽しみに。

第1話「始まり」（後書き）

迷言集その1

「そもそも、先の未来の分かる世界ほどつまらない世界はない。」
作った人は、主人公を引き立たせるのは、脇役！

第2話「説明」(前書き)

長く書けない

第2話「説明」

ープロフィールNO.1ー

名前：シン・ヴァンファレン（一応主人公）

歳：15（転生前18）

趣味：散歩 空を眺める

特技：逃走 気配遮断

一応主人公。逃げることになれば右に出る物無しと言われた。たんなる臆病者である。本気を出せば、50?を一瞬で走り抜けることが出来るが、やはり臆病者なので逃げることにしか使わない。魔法の種類は、身体強化の魔法を劣化させ、自身の下半身しか強化させないようになっている。最近、逃げることに限界を感じ始めている。そのため、防御魔法を覚えようとしている。

シン視点

さて、まずは、俺が転生したことについて話そう。まあ、詳しくは転生じゃなくて憑依なだけだね。

まず、俺はアニメや漫画が好きな高校生だったはず。歩いていたら、足元になぜか豆腐があったんだ。まあ、踏んだんだ。こけたりは、しなかった。でもその後の行動がいけなかった。あの後すぐに背後から車が来たんだ。車だぞ、トラックじゃないぞ。車を避けようと

したら、豆腐にせいで足が滑って車とは正面衝突して気が付いたら赤ん坊になってたんだ。

そうして、俺は からシン・ヴァンファレンになった。家族についてはまた今度な。

次は、この世界についての説明だな。

この世界は、『ガルデシア』って名前だ。

まあ、前に一回言ったと思うがここは、科学より魔法が発達した世界だ。

魔法って言っても、『攻撃魔法』『強化魔法』『防御魔法』が三大魔法と呼ばれている。

ちなみに、召喚魔法みたいな物があるが、三大魔法より習得が難しい為三大魔法には入ってない。

そもそも三大魔法は、まず、魔法使いになるために必ず三大魔法を覚えなくちゃいけないからな。

三大魔法を覚えるって言ってもその中の攻撃防御強化の一つを覚えればいいんだ。

まあ、魔法についての説明は、また別のどこかでするわ。

この世界『ガルデシア』は、三つの国にわかれている。

『ブレイド』『ニューリバース』『フリーダム』の三つだ。

まあ、簡単に言うとブレイドは、歴史ある由緒正しい国。

ニューリバースは、10年前に滅ぼされた国を立て直した。

フリーダムは、国から追い出された人や自分の国のやり方に納得出来なかった人達の集まり。最初は、小さい村だったけど人がたくさん集まっていつの間にか国になった。

まあ、これが俺が今いる世界ガルデシアだ。

次回予告

説明も終わった。

やっと次回からは、物語りが始まる。

臆病な主人公シンは、この世界ガルデシアをどう生きるのか。

次回『俺の始まり』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9113w/>

僕たち私たちの楽しくない魔法学

2011年10月21日10時59分発行